

平成25年度 事務事業マネジメントシート

事業名	福祉会館放射能対策事業				会計	款	項目	大	小
					01	03	01	04	01
政策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）			主管課	社会福祉課			
施策	4-5	地域で支える福祉のまちづくり			主管課長	河原 智明			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	福祉会館の利用者	意図	利用者の安全及び防災施設としての機能確保を図る。
事業内容	福祉会館の放射能除染作業を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	福祉会館14館（十太夫を除く）のうち、子供が多く利用する施設7館について除染作業を実施した。また、残り7館については平成25年度を予定していたが前倒して放射線量測定を行い、除染が必要な3館について除染作業を実施（うち1館はボランティアにより除染実施）した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①						
	②						
	③						
	④						
指標で表すことができない定性的な成果					目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
事務事業のコスト	平成23年度	平成24年度	平成25年度	駒木台福祉会館 江戸川台福祉会館 思井福祉会館 向小金福祉会館 野々下福祉会館 赤城福祉会館 東深井福祉会館 ・その他の施設の除染（3館） 南福祉会館（ボランティア除染） 下花輪福祉会館（局所的） 名都借福祉会館（局所的）			
事務事業の総コスト(a=b+c)		16,075,846					
事業費(b)(円)		14,622,498					
うち一般財源		14,622,498					
職員給与費(c)(円)		1,453,348					
人役・職員(人)		0.20					
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)		0.20					
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	C 必要性は低下すると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	VII 終了（事業を終了すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H25)の改善計画	除染を実施した施設のモニタリングを実施していく。	③取り組みの課題	除染を実施した施設のモニタリングを実施していく必要がある。
②今年度(H25)に実施した取り組み	放射線量の継続測定は放射能対策室に委ねて実施している。	④今後の改善計画	放射線量の継続測定は放射能対策室に委ねる。